【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2007-185376(P2007-185376A)
【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-028
【出願番号】特願2006-6722(P2006-6722)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｊ　31/06　　(2006.01)
Ａ４７Ｇ　19/22　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｊ　31/06　　Ａ
Ａ４７Ｇ　19/22　　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月28日(2007.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
上部に開口を有する有底筒状容器本体と、前記筒状容器本体に嵌入可能な筒状側壁と該筒状側壁の上部に設けた保持部と前記筒状側壁の下部を覆う底壁を備え、前記筒状側壁及び底壁の少なくとも一部にこし網を設けたこし器とからなるこし器付き容器において、
前記筒状側壁の下部を底壁に向かって縮径するテーパー面又は湾曲面に形成するとともに、前記テーパー面又は湾曲面に、前記筒状側壁を前記筒状容器本体の縁部にもたせた状態で前記こし器の前記開口を挟んだ反対側の縁部に係止可能な係止部を周方向に中心軸に対して放射状に複数個設けたことを特徴とするこし器付き容器。
【請求項２】
前記係止部の最外側となる部分を結ぶ包絡線で形成される円の直径が前記筒状容器本体の内径よりも小さくしたことを特徴とする請求項１記載のこし器付き容器。
【請求項３】
前記こし器の筒状側壁の前記筒状容器本体の縁部にもたせる位置に、凹部を形成したことを特徴とする請求項１または２記載のこし器付き容器。
【請求項４】
前記凹部が、前記筒状側壁をめぐる環状の凹部であることを特徴とする請求項３記載のこし器付き容器。
【請求項５】
前記筒状側壁には、窓部が形成され、該窓部を覆ってこし網が固設されていることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項記載のこし器付き容器。
【請求項６】
前記底壁には、窓部が形成され、該窓部を覆ってこし網が固設されていることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項記載のこし器付き容器。
【請求項７】
前記係止部は、前記こし器の周方向に回動可能とされていることを特徴とする請求項１乃至６のいずれか１項記載のこし器付き容器。
【請求項８】

上部に開口を有する有底筒状容器本体と、前記筒状容器本体に嵌入可能な筒状側壁と該筒状側壁の上部に設けた保持部と前記筒状側壁の下部を覆う底壁を備え、前記筒状側壁及び底壁の少なくとも一部にこし網を設けたこし器とからなるこし器付き容器において、前記底壁は前記筒状側壁の下部から斜め上方に向けて傾斜して形成され、前記底壁の上端側の前記筒状側壁に上底面と下底面とを有するように形成された切欠きと、前記底壁の下端側の前記筒状側壁に形成された係止部とを備えたことを特徴とするこし器付き容器。

【請求項９】

前記係止部が形成された上方の前記筒状側壁と、前記底壁と、前記下底面に窓部が形成され、該窓部を覆ってこし網が固設されていることを特徴とする請求項８記載のこし器付き容器。

【請求項１０】

前記こし器の筒状側壁の上部に設けた保持部は、前記筒状側壁の開口端に突設された鍔又は突条であることを特徴とする請求項１乃至９のいずれか１項記載のこし器付き容器。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記目的を達成するために、本発明のこし器付き容器は、上部に開口を有する有底筒状容器本体と、前記筒状容器本体に嵌入可能な筒状側壁と該筒状側壁の上部に設けた保持部と前記筒状側壁の下部を覆う底壁を備え、前記筒状側壁及び底壁の少なくとも一部にこし網を設けたこし器とからなるこし器付き容器において、

前記筒状側壁の下部を底壁に向かって縮径するテーパー面又は湾曲面に形成するとともに、前記テーパー面又は湾曲面に、前記筒状側壁を前記筒状容器本体の縁部にもたせた状態で前記こし器の前記開口を挟んだ反対側の縁部に係止可能な係止部を周方向に中心軸に対して放射状に複数個設けたことを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

前記係止部の最外側となる部分を結ぶ包絡線で形成される円の直径が前記筒状容器本体の内径よりも小さくすることができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

前記こし器の筒状側壁の前記筒状容器本体の縁部にもたせる位置に、凹部を形成することができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

前記筒状側壁には、窓部が形成され、該窓部を覆ってこし網を固設することができる。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、前記底壁には、窓部が形成され、該窓部を覆ってこし網を固設することができる
。